

原料費調整制度に基づく2022年12月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2022年12月検針分の単位料金を調整した結果、2022年11月検針分と比べ、1m³ (45MJ) につき4.38円 (消費税込) 上方に調整いたします。

なお、2022年7月～2022年9月の平均原料価格が59,240円/t (2022年12月に適用される調整上限) を超えたため、計算上は平均原料価格を59,240円/tとしてガス料金の調整を行っております。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で2022年11月検針分と比較して、149円 (消費税込) ガス料金が上がります。

2022年12月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m ³)	149.65	142.28	134.91
(参考) 11月 調整単位料金	145.27	137.90	130.53

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2022年 11月	2022年 12月	増減
適用料金(円/月)	5,612	5,761	149

- ・標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均) に基づき算定しています。
- ・口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)			
	2022年6月～2022年8月 の平均 (11月検針分)	2022年7月～2022年9月 の平均 (12月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	58,170	66,810	8,640
LNG	123,030	142,800	19,770
LPG	104,190	101,820	▲ 2,370
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	30,800	39,400	8,600

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

＜原料価格の変動による単位料金調整額の算定＞

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= \frac{142,800}{101,820} \times 0.4414 \\ + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= \frac{101,820}{101,820} \times 0.0371 \\ &= 66,809.44 \\ &\downarrow (100円未満四捨五入) \\ &= 66,810 \text{ 円/t} \quad (\text{調整上限} 59,240 \text{ 円/t}) \end{aligned}$$

■ 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned} 59,240 \text{ 円/t} - 27,350 \text{ 円/t} &= 31,890 \text{ 円/t} \\ (\text{調整上限}) &\downarrow (100円未満切捨て) \\ &= 31,800 \text{ 円/t} \end{aligned}$$

■ 単位料金調整額(m³当たり調整額)の算定

$$\begin{aligned} \text{単位料金調整額} &= \frac{31,800 \text{ 円}}{100 \text{ 円} \times 0.0858^{*1}} \\ &= 27.28 \text{ 円}^{*2} \end{aligned}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

＜標準家庭における影響＞

(消費税込)			
1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³) 適用料金(円/月)	2022年 11月	2022年 12月	増減
	5,612	5,761	149

・ 標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(924.00円)} \\ &+ \text{調整単位料金(115.00円)} + \frac{27.28}{100} \text{ 円} \times 34 \text{ m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \text{\uparrow 単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（27,350円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円（0.078円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が59,240円（2022年12月に適用される調整上限）を超えた場合には、「平均原料価格」は59,240円としてガス料金の調整を行います。